

大相撲 徳勝龍関 優勝記念碑 の揮毫を させていただいて！

29期 竹本治男（大鶴）

徳勝龍が令和2年大相撲1月場所において幕内最高優勝を果たしました。この功績は奈良県出身力士としては98年ぶりです。そこで桜井市穴師の相撲神社内「カタヤケシ」に、地元の世話人の方達が記念碑を建立することになりました。

高さ1500mm・巾900mm と大きな石碑に揮毫をおおせつかり1週間で仕上げしてほしいとの依頼。石碑の揮毫経験は1回（相撲神社の勝利の聖）しかなくデッサンや文字の種類（隸書・楷書・行書）などいろいろと試行錯誤しながら取りかかりました。結果としては写真のごとく品位があり格調の高い行書で書こうと決め、表の面に3種類、裏面に2種類を相当な枚数で書きまくりました。文字の大きさ、行間やまっすぐに書けているかなど苦労しました。



3月30日（月）に地方巡業「大相撲桜井場所」に徳勝龍関をはじめ八角理事長や各親方衆をお招きして除幕式を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。その後の日程は分かりませんがどのような優勝記念碑になるか今から胸がわくわくしている昨今です。

（追伸）パソコンにて相撲神社を検索して一般社団法人桜井市観光協会をクイックしていただければ「相撲神社」を詳しく見ることができます。

2020（令和2年）3月8日記



